

御坊保健医療圏域の 高齢者施設における救急医療情報連携

御坊保健医療圏域における救急搬送件数のうち高齢者の占める割合は6割を超え、高齢者施設からの搬送も年々増加しています。

そのため、高齢者施設における救急対応時、救急隊及び医療機関に必要な情報をスムーズに提供されるとともに、あらかじめ確認した人生の最終段階における医療についての本人及び家族の意思が尊重されるよう関係機関が連携を図ることを目的に様式を作成しました。

各施設においては、平時から救急対応時に必要な情報を整理するとともに、本人及び家族の意思確認のツールとして活用してください。

各様式の活用方法

救急情報提供書

(救急隊への情報提供)

【平時】

高齢者施設において、基本情報(太枠内)は事前に記入しておく。

【救急時】

救急車到着までに確認事項を記入する。

【情報提供方法】

救急隊員に用紙を渡し、情報提供をする。

介護・看護サマリー

(医療機関への情報提供)

【平時】

高齢者施設において、記入できる部分は事前に記入しておく。

【救急時】

受診までに受診までの経過を記入する。

【情報提供方法】

病院関係者にサマリーを渡し、情報提供をする。
(受診時、サマリーの提供が難しい場合は、同様の内容を口頭で情報提供し、後日、サマリーを提供する)

終末期医療に関する 意思確認書

(医療機関への情報提供)

【平時】

・高齢者施設において、本人及び家族に説明の上、意思確認書を記入してもらう。

(定期的に本人及び家族と話し合いを行い見直しをする)
・医療機関への情報提供についての同意について確認しておく。

【情報提供方法】

情報提供について同意が得られた場合、医療関係者に意思確認書の写しを提供する。
(写しの提供が難しい場合は、口頭で情報提供する)

※傷病者記録用紙及び介護・看護サマリーは入所者の状況等を救急隊及び医療機関に簡潔に整理して伝えるための手段として作成した様式のひな型です。必ずしもこの様式を使用することを求めるものではありませんが、救急隊及び医療機関が必要とする情報を踏まえた項目となっていますので、施設において既存の様式がある場合は、項目等をご確認ください。

※意思確認書についても参考様式として作成したものですので、施設において既存の様式がある場合は、その様式をご活用いただき情報提供することも可能です。